



～JA事業紹介編～ まんが:じつく

第105話 ～人事教育課より～

私たち職員も学ばせていただきます

主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話聞きながら、将来の自分を見つめます。JAの新人職員は、農作業の体験を通して組合員や地域農業を知り、職員としての自覚や日頃の業務に生かします。



花泉 新 (21)  
入組3年目の職員。奥の2人は同期

3年間の農業研修



入組 1年目 水稻  
水稻育苗センターで苗引き渡し業務の他、農家での苗渡しや田植え機に乗車しての体験もある

入組 2年目 園芸  
トマト・ピーマン・小菊など  
収穫や出荷調整作業

入組 3年目 和牛・リンゴ  
和牛への餌やりや清掃作業など  
リンゴの収穫、出荷調整作業

そして研修先の集落宮農組織や農家さんの現場指導によって同じ目線に立たせてもらい生産の大変さや仕事へのやりがいも学ばせていただきます



私は支店で共済窓口を担当しているので少しでも農家さんのお役に立ちたいと身が引き締まる思いです

私は融資課で融資を担当していますので組合員さんの立場に立った提案等を心掛けたいなと

直接営農に関わらない研修で学んだことは必ず生かします!

JA職員さんが組合員さんに寄り添った考えができるのは研修の下地があるからなんだね

編集後記

▽明けましておめでとございませう。昨年はコロナ禍に続き、資材や燃油などの物価高騰などさまざまな課題に対処しなければならぬ年だったと思ひます。今年も卯年にちなんで、課題などをピョンとはねのけ、乗り越えられるような年になることを期待します。そして農業の魅力や皆さんの活動、笑顔を届けていきたいと思ひます。本年も取材への協力をよろしくお願ひいたします。(及川)



▽明けましておめでとございませう。本年もよろしくお願ひいたします。年末年始は行動制限がなく、離れて暮らすご家族と楽しいお正月を過ごした方も多しと思ひます。全国旅行支援で我慢していた旅行にも出かけるようになるに、感染対策をしつかり楽しんでみたいですね。今年も皆さんの取り組みや地域の魅力をたくさん紹介できるように取材にお邪魔しますのでよろしくお願ひいたします。(阿部)

